

項目番号	1	項目	学習内容を明確にした授業の徹底
学校名	熊谷市立熊谷東小学校		
タイトル	算数科における板書の工夫		
<p>1 本校における学習内容の明確化 学習内容とは ・本時にはじめて学習する、基礎的基本的な内容 ・学習課題に対する答えや学習のめあての答えとなるもの ※1時間の授業で”今日はこれを勉強した”と児童が答えられるもの。そのために、教科書を研究し、児童にわかりやすい言葉で整理する。</p> <p>2 学習内容が主役となる板書をつくる 学習内容は、課題と対になるように板書することで、児童に正しく伝わり、理解が深まる。結果としてその内容が身に付く。</p>			
		<p>課題はその時間で一番大切な主発問である。 学習内容はなるべく長い時間目にふれるように一番目立つ黒板の中央に書く。</p>	
<p>たとえば180° を超える角度を測る問題場面の場合、 本時の課題は「180° より大きな角度はどうすればはかれるだろう」である。 この課題の答えが「180° より大きい角度のはかり方は180° にたす方法と360° から残りを引く方法がある」であり、これが学習内容となる。(板書ではまとめとして書く)</p>			
<p>3 板書案改善のサイクル</p> <p>板書案(P) → 授業(D) → 板書写真(C) → 修正板書案(A)</p> <p>板書案をつくって授業 実際の板書を画像に残す 改善する</p> <p>全職員がこのサイクルで授業実践記録を残している。このことによって学習内容を明確にした授業の徹底を図る。</p>			
<p>【成果】 学習内容が明確に板書の中心に書かれていれば、教師は板書を大切に、児童はしっかりとノートが書けるようになる。学習習慣も身につけ、学力の向上につながる。</p>			